

# 番町の価値を次の世代に繋いでいくために

番町の町並みを守る会は、千代田区番町地区で計画されている日本テレビ麹町ビルの再開発に伴い、番町のまちづくりを考えて行くために2018年6月に住民が立ち上げた会です。そして、この数ヶ月の間、6回の勉強会開催、千代田区議会への陳情書提出（署名は1,542筆集まりました）。さらに、千代田区長への二度にわたる質問書の提出、協議会への参加などさまざまな活動を続けて来ました。その中で気付いたのは、番町というまちの素晴らしさ、かけがえのない大切さを多くの方が共有していることです。そして、こんな大好きな番町の未来を人任せにしていたのではないか、という反省もありました。多くの住民が、この番町のまちに愛着をもって暮らしています。多くの子供たちを、安心してこのまちの学校に通わせています。

日テレ再開発計画に賛成も反対もありません。それを越えたところから、次の世代に繋がる番町のまちづくりが始まるのだと思います。住民・事業者・千代田区が一体となり、ここから、みんなで一緒に番町のまちの未来を考え、とらにつくって行きましょう！

勉強会やメールで住民の方からこんな声が届いています。



**超高層** マンションを選択したくないから、落ち着いた番町を選んだ住民も多いのに。

**番町らしい**  
再開発になるとよいなあ！



**片側一車線** の日テレ通りで超高層建設。道路も歩道も地下鉄もパンクするんじゃない？

**ビル風** と日影の住宅街「番町」では悲しい…

**良質な文教** 地区と住宅街が繁華街化したら嫌だなあ

**なぜ大幅な** 規制緩和が必要なのか、わかりません。

現在の高さ60メートルのルールは、10年前にオフィスや商業施設の地域、静かに暮らしたい住宅地域が互いに調和、共存するために都市計画マスタープランも踏まえてつくったものだと聞いているけれど、それをどうして変える必要があるの？

**まちの将来** に大きく影響する「日テレ再開発」ってどんなもの？  
四番町、六番町で町会主催の説明会やご意見を伺う会が行われ、多くの住民はありがたく思っていますが、事業者である日本テレビさんは、私たち住民への説明会を開催しないのでしょうか？

「番町の町並みを守る会」は、発起人ら運営委員からの一人一万円と、勉強会開催時に寄せられた皆さまからのカンパにより運営されています。主な使途は、チラシや勉強会資料の印刷代、講師謝金（または講師お車代）、HP運営費、場合によっては勉強会会場費などです。また、「守る会」の運営は住民らのボランティアによって行われており、一切の政治・宗教等団体とは関係ありません。

番町の町並みを守る会 <https://bancho-machinami.com> お問い合わせは [infobancho@machi-kaeru.com](mailto:infobancho@machi-kaeru.com)  
みなさまの声をどしどしお寄せください！

\*お送りいただきましたメールは「番町の町並みを守る会」の活動に関するご連絡以外は使用いたしません。



番町の町並みを守る会  
第7回勉強会  
November 20, 2018

# 番町のまちの未来を一緒に考えましょう

～こんなアクションができます～

## 1 最新情報を知る

日テレ再開発計画は、通常の再開発計画と比較にならないほどのスピードでいろいろなことが動いています。私たちはその動きをキャッチし、出来るだけわかりやすく公開しています。番町の町並みを守る会のホームページやFacebookページをフォローしたり、メーリングリストに登録して、「最新情報」を共有してください。

## 2 勉強会に参加して計画を詳しく知る

今、どのような開発計画が日テレ所有地で上がっているのか、開発計画の議論の場として作られた「日本テレビ通り沿道まちづくり協議会」はどのような経緯で現在に至り、今後どのようなスケジュールで計画を固めようとしているのか、勉強会で知ることが出来ます。

## 3 友達や近所の人とこの話をする

問題の解決に最も大切な要素の一つは「より多くの方に事実を知ってもらう」事です。多くの方が関心を持ち、何らかのアクションを起こすことでみんなの意見が反映されることとなります。「守る会」のホームページやFacebook、メーリングリストより最新の情報を発信していますので、どうかみなさんでこの話をお一人でも多くの人に知らせてください。

## 4 区に問い合わせる

計画の内容について、なぜこのような計画が進んでいるのかなど、区的环境まちづくり部地域まちづくり課に、直接住民の素朴な疑問や意見を届けてください。疑問の声が直接伝わることで、疑問を持つ人が多いことが伝わります。

## 5 協議会・都市計画審議会・区議会を傍聴する

この計画を協議、提案している「日本テレビ通り沿道まちづくり協議会」の資料については、「千代田区まちづくり協議会」で検索することで資料も協議会の日程も知ることが出来ます。傍聴の受付は、協議会の開催予定日の2週間前から開始されます。これまで、傍聴席の数が20席と大変少なかったために、申し込み開始日の午前中には満席になっています。

(申込先：千代田区地域まちづくり課 電話03-5211-3617・3619)

## 6 区議会議員に意見を伝える

千代田区には25名の区議会議員がいます。居住する方ばかりで無く、在勤、在学の方の声にも耳を傾けるのが区議会議員の仕事です。日テレ再開発問題は千代田区議会の「企画総務委員会」にて審議されました。身近な地元の議員にでも、ぜひ問題意識を話してみてください。千代田区議会のページを検索すれば、区議会議員の名前や連絡先もわかります。

どんなスタイルでも、意見を表明することが第一歩です。  
どうぞ、番町が住み続けたい町であるために何が出来るかを考え、  
行動していただければ幸いです。

